

読影環境(写真 1)



3T MRI



放射線機器

MDCT 4台
(320列1台, 256列1台
80列1台, 16列1台)

MRI 2台
(3T, 1.5T)

血管造影装置 4台
(うちIVR-CT1台)

RI診断装置(SPECT) 2台

透視装置 3台(すべてDR)

超音波診断装置 1台

広島市立広島市民病院

〒730-8518

広島県広島市中区基町7番33号

電話番号: 082-221-2291(代表)

FAX 番号: 082-223-5514(代表)

<http://www.city-hosp.naka.hiroshima.jp/>

《病院見学等問合せ先》

事務室総務課人事係(研修管理委員会)有馬・長谷川・児玉

e-mail : hiro-kensyu@hcho.jp

～ 交通アクセス ～

【電車】

■ JR 広島駅(山陽本線)方面から
広島電鉄 2系統宮島線 約12分 紙屋町東下車
徒歩 約7分

■ JR 横川駅(山陽本線)方面から
広島電鉄 7系統 約13分 紙屋町西下車
徒歩 約9分

【バス】

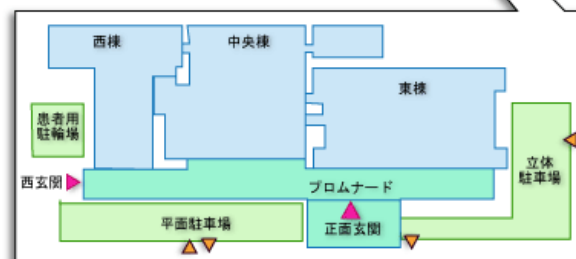
■ バスセンター下車 徒歩 約7分

【アストラム】

■ 県庁前下車 地下道より直通

【飛行機】

■ 広島空港→バスセンターまでバスで約50分位



地方独立行政法人広島市立病院機構

広島市立広島市民病院

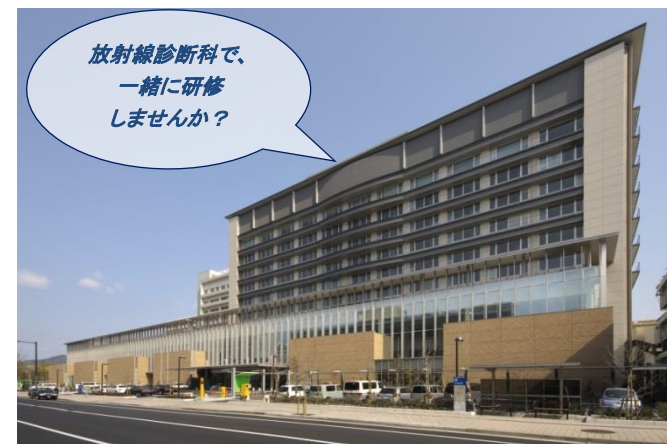
放射線診断科

のご案内

当院は、以下の基幹型専門研修プログラムの連携施設です。

専門研修プログラム名

広島放射線科専門研修プログラム



最高の仲間と、
最高の場所で、
最高の研修を！



地方独立行政法人 広島市立病院機構

広島市立広島市民病院

Hiroshima City Hiroshima Citizens Hospital

放射線診断科 スタッフ紹介

1. はじめに

放射線診断学は、画像診断と IVR(Interventional Radiology)の2部門から構成されています。当院の後期研修プログラムは様々な疾患を診断するために必要な画像所見の基本的知識の習得、IVRの基本的な手技と知識を学ぶために工夫されています。

2. 研修目標

放射線診断学の基礎的な知識を広く学び、専門的知識と高度な技術の修得をめざします。当院は放射線科専門医総合修練機関として認定されており、放射線科専門医および放射線診断専門医の取得が具体的な目標です。

3. 研修項目

指導医は、全員、日本医学放射線学会放射線診断専門医です、日本血管造影・インターベンショナルラジオロジー学会専門医、核医学認定医、マンモグラフィ読影認定医がおり、各々の専門的な指導を受けることができます。宿日直はありませんが、当院の規定に従い、後期研修中に救急部にて救急診療を学ぶこともできます。また、放射線科で発生する画像はフィルムレスで読影を行う環境にあります(写真1)。

1. 血管内治療・・・適応、手技、塞栓術、塞栓物質、血管拡張術、ステント留置術
2. 非血管系治療・・・CTガイド下生検、CTガイド下ドレナージ

～ 放射線診断科 スタッフ ～



主任部長 飯田 慎 (放射線診断専門医)
 良質な治療のためには、診断学的サポートが不可欠です。高機能化が進む各種の最新診断装置を駆使し、疾患特性を紐解いていく醍醐味と一緒に経験してみませんか？様々な領域における診断エキスパートへ道も比較的短いと思います。

部長 高須深雪 (放射線診断専門医)
 若干の偏りはあるかもしれませんが、一通りの疾患は学べると思いますが。各症例を丁寧に、一緒に勉強しましょう。

部長 田村彰久 (放射線診断専門医)
 当科では、患者さんの状態を思い浮かべながらモニタに向かって診断を行い、画像診断報告書を作成することは勿論、患者さんと向き合って診断や治療を行うIVR(生検・止血など)も多数行っています。これと同時に検査室と連携して各種検査の適応・検査方法の決定を行い、検査そのものの質を向上させることも行っています。最適な治療を行うためには確かな診断が必要であり、放射線診断で得られる多くの情報を正しく理解し利用できるようになるために当科での経験を皆さんの研修に役立ててください。

部長 谷為 乃扶子 (放射線診断専門医)
 当院は症例が豊富で、撮像装置、読影環境も充実しています。合同カンファも多数行われており、他科との連携もとりやすく、放射線科に必要な幅広い知識を得ることができると思います。読影室には常に他科のDr.が質問やコンサルトに来られており、和気藹々とした環境です。

川井 咲 (放射線診断専門医)
 当院は症例数が多く、common diseaseのみならずrare diseaseを経験することもできます。指導医も多く、放射線診断科の研修場所としてもなかなかない恵まれた環境だと思います。是非いらして下さい。

武田 小渚 (放射線科専攻医)
 画像診断はもちろん、IVRの症例も幅広く、非常に勉強になると思っています。上級医の先生方は皆さん優しく、気軽に相談しやすい環境です。放射線技師や看護師、事務員など様々な職種の方々に囲まれ毎日楽しく過ごしています。是非ここで研修してください！

嘱託医 松浦 明子 (放射線診断専門医)
 救急～慢性疾患、良性～悪性疾患、胎児～新生児～高齢者～Ai(死亡時画像診断)、圧倒的に幅広く、奥が深いこと、これは当院の診療科の種類が多く、各科が高い専門性を持っているからこそです。放射線科の研修場所としては最高だと思います。

嘱託医 谷 千尋 (放射線診断専門医)
 画像診断の守備範囲は、胎児～高齢者、頭部～足先までと多岐にわたります。適切な治療を行うためには正確な診断が必要であり、正確な診断を行うための手段として画像診断はなくてはならない存在となっています。日常診療の最前線で奮闘する臨床医をサポートするととてもやりがいのある仕事です。当院は各領域の症例が多く、放射線診断学に必要な幅広い経験を積むことができると思います。ぜひ、当院で研修してみませんか？

読影件数

	2016	2017	2018	2019	2020
CT	18,030	20,007	25,923	29,304	26,109
MR I	5,343	5,320	5,235	5,493	4,690
核医学	1,499	1,346	699	500	318
MMG	491	538	588	562	-
他施設再読影	608	576	508	502	300
機構内読影					794

IVR

	2016	2017	2018	2019	2020
動脈塞栓術	47	54	52	74	61
CTガイド下生検	43	42	35	30	30
CTガイド下ドレナージ	21	20	25	17	28
乳房吸引式生検	87	91	87	75	56

院内カンファレンス

- 1回/週 肝胆膵、心臓外科、神経
- 2回/月 マンモトーム
- 1回/月 乳腺外科術後、産婦人科
- 1回/2月 小児外科

詳細はHP、または見学で！！

20210723